

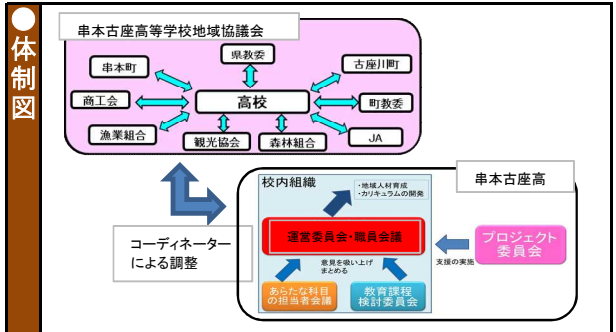
こんな活動です

地域まるごとキャンパス構想を軸にした学校の魅力化と地域人材の育成

和歌山県串本町・古座川町	●活動名 串本古座高等学校地域協議会	●関係する学校名 和歌山県立串本古座高等学校
--------------	-----------------------	---------------------------

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	9 学級	のべ児童・生徒数	266 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
参考URL	https://www.kushimoto-h.wakayama-c.ed.jp/						

●連絡先	和歌山県立串本古座高校	☎ 0735-62-0004
------	-------------	----------------



●活動の概要・経緯

平成28年7月に串本・古座川町の関係者が集まり、本校と両町の相互発展に資するために連携し協力することを目的として、串本古座高校地域協議会が成立した。協議会からは、本校と両町をつなぐコーディネーターが派遣されており、本校に常駐して業務に当たっている。協議会は、学校魅力化のための事業の実施や全国募集による入学生徒への補助金支給と共に、公営「くろしお塾」の運営などの業務を行っている。

平成29年度から「串本古座高校魅力化プロジェクト」と名付け、新たなコースの立ち上げや特色ある授業の展開（地域まるごとキャンパス構想）、全国募集の開始、地域包括支援部（CGS）の設置などの様々な改革に取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①地域の豊かな教育資源を活用した学校設定科目の展開
両町役場、近隣に所在する官公庁・民間企業やトルコ大使館など様々な機関と協力しながら、スキューバダイビング（科目マリンスポーツ）、長期インターンシップ（科目串本デュアル）や地域の福祉施設と提携した介護職員養成（科目介護福祉）など、地域の持つ魅力を活用した特色ある授業を展開している。
- ②地域包括支援部（CGS）の活動
CGSは地域貢献を目的として立ち上がったクラブである。地元の各機関と協働して、「まぐら」や「ゆず」などの地域特産品を使った商品開発、JRや両町役場、町内会などと協力した防災への取組、オカヤドカリ等の地域固有生物の研究、ジオパークに係る取組などを行っている。

【実施に当たっての工夫】

学校と地域をつなぐために配属されているコーディネーターが、外部関係機関との折衝や探究的な学習活動のファシリテーションに係る業務、外部指導者（地域人材）や施設設備の発掘とマッチングなどの業務に従事し、上記の特徴的な取組の手助けを行っている。

また、生徒の興味やニーズに合わせて、地域包括支援部（CGS）を有効に機能させている。このクラブは地域貢献を目的として立ち上がったクラブであり、地元の各機関と協働して特色ある活動を行っているが、何れも必要に応じてグループを編成し、役割を終えれば一旦解散として次のプロジェクトに対応するなど、状況に合わせた柔軟な取組を行うようにしている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

これらのプロジェクトを始めて3年目となり、今年度末に初めての卒業生を出すことになる。もともと地域密着の学校であり様々な地域の活動に参加してきたが、地域の魅力化や発展に向けての高い目的意識を持つ生徒がさらに増えたように感じる。進路選択の面でも、意識の変化が見られるところである。

地域と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育むという観点から、今後はPDCAサイクルの下に、これらの取組を完成させると共に、適切な評価を行い改善につなげていきたい。

●その他

学習支援の場として「くろしお塾」を展開している。これは、学校や校種を超えて地域を担う人材の育成を目的とした「多様な学びの場」で、今年度は、①進学指導の充実、②地域の中学生も対象とした漢検・英検講座の実施、③高大交流や文化的な行事の実施を主な事業としている。



道の駅「串本」で、地域の産品を販売し、観光客への情報提供や防災活動を行っています。



海1ス力洋学期に取得を習得して風景を指導している。地元「科目マリン」最終的の事業「ラ」の